

川内原発 九電は一時停止を

無職

(長崎県 78)

と12月に迎える定期検査まで稼働させるとの見方が有力だ。

鹿児島県の三反園訓知事が九州電力に、川内原発の一時停止を申し入れた。就任後、周辺を視察し、住民の声を聴くなど現状把握を進めており、その上で選挙の公約を履行した形だ。

知事の申し入れでは、機器の点検の重点項目をあげたほか、周辺の活断層の調査や、住民の避難計画への支援強化などを求めている。知事には稼働中の原発を止める具体的な権限はないとはいえ、県民の不安にこたえるのは当然のことだろう。

これに対し九電は、一時停止に応じず、稼働中の2基が10月

しかし私は、川内原発をめぐる九電の姿勢に不信感を持っている。熊本地震後も、「設備を点検し、機能が保たれているか確認した。結果として安全に運転されている」などとするばかりで、地震から新しい知見を引き出し、情報公開に努めるといった姿勢が見えないからだ。

九電は運転をすぐに停止し、住民の立場に立って、申し入れで指摘されているような点を改めて点検し、情報を公開すべきだ。住民の安全・安心を守り、命を守る。それが公益企業としてとるべき対応ではないか。